

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス にじいるアルファ		公表日		令和8年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	スペースをさらに広く、有効に使うことができるよう努めております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	適切に配置されております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	活動室に線を引き、静と動の活動を分けています。極力置くものや、掲示物などの目から入る情報を減らしております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	空間の障害物になり得るものを排除し、室内の清掃、除菌を行い清潔に過ごすことができるよう努めております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	気持ちが高ぶった際に、気持ちを落ち着けたいとき等クールダウンの部屋として使用することができる場を設けております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	気になる点や分からないこと、今後の課題点などについて一人ひとりが発言し、共有することができております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	アンケートにご協力いただき、ミーディング時に職員間で共有し、業務改善につなげております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ミーディングの際に日々の業務でやりづらいところがあれば共有し、効率的に行える方法がないか検討し、改善に繋げております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	外部評価は未実施です。	支援機関と連携し、業務改善に有効な話を日々の療育へと繋げていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修に関しては研修スケジュールを職員間で共有し、積極的に参加しております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	HPにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	アセスメントシートを用いて、保護者・利用者様からそれぞれニーズなどを伺い、反映させながら作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児童の成長したところや、気になる点など各職員が見えている姿を共有し合い、共通理解を深めております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	勉強面や対応方法など共有し、職員によって偏りが出ないように、同じ関わり方ができるようにしております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	具体的に設定し、記載しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	ミーディングの際に、それぞれ取り組みたい活動があれば内容について話し、チーム全体で考案することができております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	固定化されたものにならないよう、職員間で話し合いながら新しいものを取り入れております。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	組み合わせで作成し、支援を行っております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	どのような活動を行うか、一日の流れについて確認し、連携をとることができております。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	その日の出来事について怪我やトラブル、変更点について、いつもと違った点、勉強に取り組む様子、嬉しい関わりについて等を共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	どんな様子だったか、どのような関わりをしたか、よって今はどのような対応をして支援していくことがよいかという点を記載し、改善に繋げております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	自分で何をしたいかが決まるまでに時間を要する児童には、活動の前に何を行うかこちらから選択肢を設けて選んでもらうことがあります。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	より深く理解している者が参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて学校、相談事業所、障害福祉などと連携し、話し合いの場を設けております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	適切に行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		今後機会を創出できるよう考案してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		参加しております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		今後ニーズの把握と、実施方法について検討してまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	ご契約時に説明させていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者、利用者様ともに意向確認の機会を設けております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	同意させていただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		父母の会やきょうだい同士で交流する場としては設けることができておりません。イベント時に来所していただき保護者様同士で少しお話していただく機会がありましたが、希望が多数あった場合に可能な形で開催できるよう検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	体制の整備はしており、できるだけ素早く対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	連絡ツールを用いて活動概要や行事予定などお伝えし、共有しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	顔や名前が書いてあるものに関してはシュレッダーにて処理し、重要な書類を保管している場所への施錠を徹底しております。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		地域のイベントへの参加、地域のごみ拾い、公共施設での活動などで関わる場面としては多くありますが、地域住民の招待などは未実施のため、開催できる形を検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを作成し、訓練も実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	毎年書いていただく書類にて確認しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	間違っていないようアレルギー内容等について一枚の紙にまとめ、随時確認が行いやすいようにしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		周知の方法を検討し、保護者の方々へ確実に伝えることができるようにいたします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットを作成し、危険と思われる箇所にクッションガードを取り付ける等のすぐに対処できることに関しては即時対応しております。また、職員間で共有して同じ怪我につながらないよう気を付けております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			